

Magnolia Agriculture Campus

農業を通して世界に触れる。人間を学んで、農業を知る。
大地、水、太陽の光と熱
自然はときに厳しく、しかし私たちに大いなる恵みをもたらしています。
では、農業は地球に対し、何をもたらしているのでしょうか。

2018年12月～2019年3月 スケジュール

12.23 (日)

- ◆ 10:00~12:00 竹下 哲生 「動物と宇宙、そして人間との関わり」
- ◆ 13:00~14:30 鹿喰 容子 粘土造形 牛の角
- ◆ 15:00~16:00 鶴田 史恵 体験講座 手のオイルケア (アインライビング)
- ◆ 16:00~17:45 温泉
- ◆ 19:15~20:30 竹下 哲生 「宇宙的イマジネーションとしてのクリスマスのお話」

12.24 (月・祝)

- ◆ 10:00~12:00 竹下 哲生 「牛・鹿の角と農業の神秘」
- ◆ 13:15~14:00 橋本文男 実践 冬の農業
- ◆ 14:15~15:45 鹿喰 容子 粘土造形 鹿の角
- ◆ 15:45~16:00 終わりの会

2019.1.27 (日)

- ◆ 10:00~12:00 ベン・キャンベル 「バイオダイナミックの酪農」
- ◆ 13:30~16:00 ベン・キャンベル/佐藤 公俊 対談「プレパラート (調剤) に使われる牛糞と植物について」

2.24 (日)

- ◆ 10:00~12:00 竹下 哲生 「農業哲学 第4講」
- ◆ 13:30~16:00 竹下 哲生 「農業哲学 第5講」

3.21 (水・祝)

- ◆ 10:00~12:00, 13:30~16:00 ビリオ・ドニー
「自然科学とバイオダイナミックに基づく観察と実践 第1回 ナタネ科」

受講料 各日 **5,000円** (軽食代含む)

1コマ **3,000円**

12/23 手のオイルケア講座は、無料です。当会の活動に、お気持ちをご寄付いただくと嬉しいです。

会場 12/23, 24 **泉崎カントリーヴィレッジ**

(西白河郡泉崎村泉崎笹立山12・泉崎駅より送迎あり)

1/27 **岩瀬牧場** (鏡石町桜町225)

2/24, 3/21

講義: **鏡石町 勤労青少年ホーム** (鏡石町中央

59)

実習: **マグノリア農園**

※ YouTubeにて通信受講 準備中

◆ 畑での実習がありますので、帽子、運動靴などで準備ください。

お申し込み・お問い合わせ

NPO 法人マグノリアの灯

〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境 445 番地

tel&fax: 0248-94-7353 <https://magnolias-licht.org/>

email: magnolianohi1309@yahoo.co.jp



eメール

農業は地球を癒す
— 物質の克服 —
マグノリア・アグリ・キャンパス



DIE ARCHE DES
MAGNOLIAS LICHTS

講師プロフィール



ベン・キャンベル

米国ウエストバージニア州出身。ロック建築家を長くしていたが、地球を癒したいと思い立ち有機農業を始めた。テネシー州のBD農場で研修。株式会社ソフィア・ファーム・コミュニティ代表取締役、日本バイオダイナミック協会理事。



佐藤 公俊

53年、徳島県生。東京外国語大学卒。ゲーテ=シュタイナー研究。バイオダイナミック農業機関誌『天と地の間で』編集主幹。『シュタイナー医学原論』（メース）など訳書多数。『ユリイカ』ほか寄稿多数



鹿喰 容子

72年愛知県名古屋生まれ。造形美術家。キャンピル共同体での生活体験を経て02年よりヨーロッパにて造形美術と酪農を通してアントロポゾフィーを学ぶ。15年よりことばの家にて言語造形家諏訪耕志氏に師事。



竹下 哲生

81年香川県生まれ。00年渡独。南独での酪農実習を経て、キリスト者共同体自由大学に入学。著書：入間カイとの共著『親の仕事、教師の仕事——教育と社会形成』、訳書：M. デーブスの『三位一体』、L. ヤッハンスの『アトピー性皮膚炎の理解』など多数。



鶴田 史恵

看護師。アントロポゾフィー看護を学ぶ看護職の会立ち上げに参加。現在、同会運営委員。13年国際アントロポゾフィー看護基礎コース修了。IFAN 認定アントロポゾフィー看護師エキスパート。AnthroMed 認定すみれが丘ひだまりクリニック勤務。



橋本 文男

51年須賀川市生まれ。福島県立岩瀬農業高校を卒。東日本大震災後、参加したバイオダイナミック農法勉強会で自ら研究していた橋本農法の理論的裏付け得て、日本国内および海外の先駆者との連帯のもと、福島発BD農法の構築発展に取り組んでいる。



ビリオ・ドニー

50年仏ドラヴェイユ生。82年、来日。千葉市内に産直を中心とする「ぼっこわば農園」を妻と拓きBD農法を実践。90年熊本県南阿蘇村に移住。「ぼっこわば耕文舎」を主宰し、現在に至る。NPO 法人日本バイオダイナミック協会 共同代表他

キャリアサポート

新規就農をお考えの方には、本講座満了後に、近隣市町村で取り組んでいる「新規就農者支援事業」を通じて、耕作放棄地などを斡旋する窓口をご紹介します。お申し込み時にお問い合わせください。

「マグノリアの灯」は、認識と愛の行為で《福島を生きる》NPO 法人です。

マグノリア（モクレン科）の花言葉は「うらみつらみさえも慈愛に変える」。その灯で、世界を温めること……それが私たちの理念です。

《福島を生きる》とは、私たちにとって、この理念を灯に掲げて活動することです

東日本大震災の原発事故による放射能汚染。私たちは、それに対し、環境の改善、人々の健康増進に関する事業を、地球規模の視座、長期的な展望を持って継続的に行い、人類の進歩、発展に寄与することを目的としています。

中でも、子どもの健全育成を図る活動として、ホリスティックなコミュニティを創造していくこと。ホリスティックとは、「全体的」の意味で、老若男女や地域・自然との絆を大切に考える考え方です。

